

## 受講登録前後における学生の教職への期待と取り組み

—平成25年度春学期教職課程受講者の意識調査から—

渡津英一郎（現代中国学部）

### はじめに

学生の教職課程履修動機と教職への期待は様々で、在学中に関連した実情を知ることにより履修への期待も教職への取り組みも変化する。履修単位数が多く、大学生活に余裕がなくなる。講義の外、介護体験や教育実習がより大きな負担になる。また、教職課程の履修は直接教員採用に結びつかず、試験の準備を早期にしなければならない。受験の日程が他より遅く、不合格となった場合は他の試験に間に合わない。採用試験は難しく、専門的な学習は他の就職試験にはあまり役立たない。次年度に向けて勉強しても合格するとは限らない。臨時の講師となっても不安定な雇用条件しか得られない。これらは教職の現実であり、学生には履修の課程で次第に明らかになってくることである。

拙稿「教職課程を履修する学生の受講動機とその後の選択」では、高校生の職業意識と本学学生の意識調査を通して、受講時の学生の状態とその後の変化について考察した。多くの学生は、高等学校在学中に教職の知識は僅かしかもってない。大学入学後も教職について理解する時間も機会もなく受講し始める、当初から必ずしも教職に就こうとしていない、何らかの理由により何時でも如何様にも変わっていく可能性をもつことを確認した。このことから、学生の進路と教職への取り組みに変化をもたらすのは何か、教職の

様々な事情からこれを明らかにした。

ところで、平成24年度に実施した調査の目的は担当した講義を充実させるためであり、第一義的には履修者個々の意識を把握することにあった。従って、この調査結果をもとに一般的な傾向を考察するには更に詳細かつ異なるデータを必要とした。幸い今年度は、受講登録時、校舎別に同一講義の調査を行う機会が得られた。そこで、新たなデータをもとに、先の論文の一節（二、教職課程の受講と教職志望の理由）について、再度問題点を絞り考察を試みた。履修への期待や教職への取り組みの変化は、何が契機となるか注目しなければならないが、受講登録時の意識が非常に重要であると確認することができた。

### 一、調査方法と調査対象

#### 1. 調査期日と実施方法

平成25年度の教職課程ガイダンスは4月3日の入学式前、受講登録の期限はその3日後の6日までとなっていた。調査は「教育制度論」第一回目の講義の冒頭、名古屋校舎4月10日、豊橋校舎4月8日に行った。学生が、当該講義を履習するか否かは未定の段階である。内容は、履修予定者に「受講登録を何故行うのか」「何故教職を目指すのか」を問い、受講の動機を把握しようとしたものである。質問項目は、前年度春自由記述で実施した回答を、今回は選択肢として設け回答させるよ

うにした。問題数は減らし、よりシンプルなものとした。調査用紙への回答は質問者が口頭で説明しながら一斉に行い、記入時間はすべて含めて5分程度のものとした。(01)

## 2. 調査対象

今年度「教育制度論」は、名古屋・豊橋校舎ともに春学期と秋学期に開講されている。春学期の第一回目の履修者は、名古屋校舎約100名、豊橋校舎約170名だった。(回収数は、名古屋校舎90名、豊橋校舎165名である。また、履修登録した者は、名古屋校舎102名、豊橋校舎165名となった。)

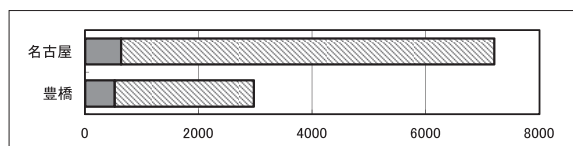
## 二、受講者数と取得予定の免許状

### 1. 受講者数と履習予定者数

平成25年度、教職課程受講者数は名古屋校舎637名、豊橋校舎523名である。昨年度と同様、若干名古屋校舎の方が多いが、両校舎とも昨年度とほぼ同数である。しかし、名古屋校舎の全学生数は7200名の8.8%、豊橋校舎は2451名で21.3%である。豊橋校舎の方が受講者数は少ないが、受講者の割合は名古屋校舎の倍以上の受講率である。今回の履修者(調査回答者)は、名古屋校舎総履修者のうち90名で14.1%、豊橋校舎総履修者のうち165名で31.5%である。(図01) (図02) (図03)

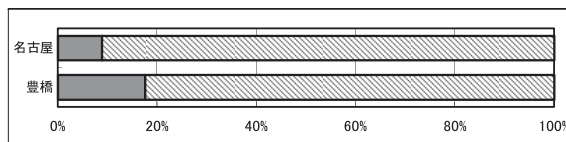
(図01) 在学する学生のうち教職課程受講者

(名古屋校舎・豊橋校舎)



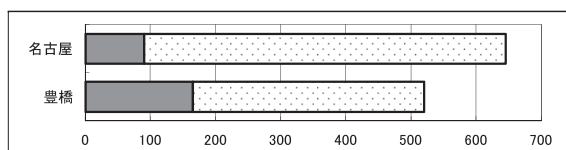
(図02) 在学する学生数と教職課程受講者の割合

(名古屋校舎・豊橋校舎)



(図03) 教職課程受講者のうち履修予定者

(名古屋校舎・豊橋校舎)

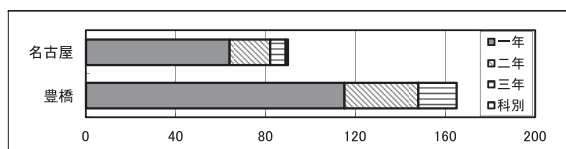


名古屋校舎90名の学年別内訳は、一年64名、二年18名、三年7名、科目等履修生1名である。豊橋校舎165名の内訳は一年115名、二年33名、三年17名、科目等0名である。他の講義との関係や講義の内容から、一年生のうちに履修する学生が多い。

また、今年度の一年生新規受講生は名古屋校舎153名、豊橋校舎129名であり、今回の調査は、名古屋校舎一年生新規受講生のうち64名で41.8%、豊橋校舎一年生新規受講生のうち115名で89.1%である。豊橋校舎は教職課程受講者の割合はきわめて高く、更に、教職課程受講者のうち本調査に回答した者の割合、一年生新規受講生に対する回答者の割合も高い。(図04) (図05)

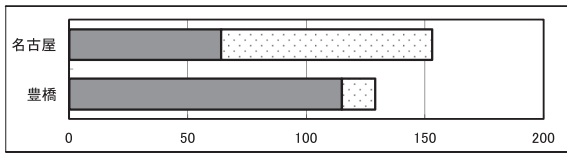
(図04) 教職課程の学年別受講者

(名古屋校舎・豊橋校舎)



(図05) 新規教職課程受講者中の調査時履修者

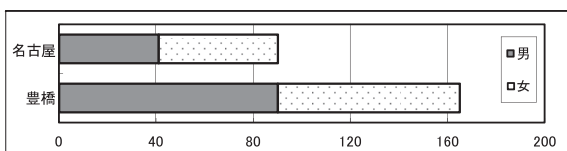
(名古屋校舎・豊橋校舎)



次に男女別では、名古屋校舎は男子41名、女子49名だった。豊橋校舎は男90名、女子は75名だった。名古屋校舎では女子が多く、豊橋校舎では男子が多い。しかし、文部科学省の平成22年度の調査によれば、教育現場の教員の女子の割合は、高等学校28.6%、中学校41.1%、小学校61.9%である。愛知大学が高等学校と中学校の免許が取得できる教職課程であることから、男子に比べ女子の履修者が多いと感じられる。(02) (図06)

(図06) 男女別の教職課程受講者

(名古屋校舎・豊橋校舎)



## 2. 取得希望免許

### (1) 学校種別

名古屋校舎では、高等学校76名(男36名、女40名)、中学校48名(男18名、女30名)、小学校3名(男1名、女2名)である。豊橋校舎では、高等学校134名(男72名、女62名)、中学校81名(男45名、女36名)、小学校14名(男7名、女7名)である。

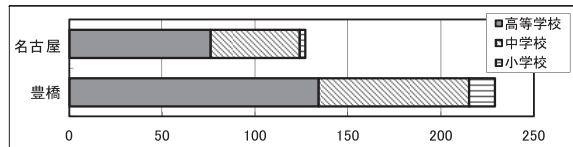
学校種別では、名古屋校舎・豊橋校舎ともに、中学校に比べ高等学校の免許取得希望者が多い。小学校の免許状は、愛知大学の課程履修だけでは取得できないが、既にこの時点

で17名、男子8名、女子9名が希望している。

(図07) (図08)

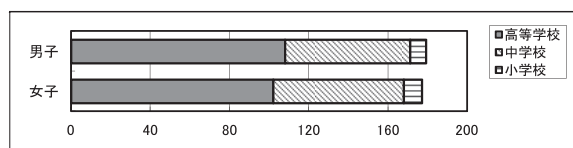
(図07) 学校種別免許取得希望者

(名古屋校舎・豊橋校舎)



(図08) 男女別免許取得希望者

(名古屋校舎+豊橋校舎)



### (2) 教科別

名古屋校舎では、地歴は39名であり、内訳は地歴単独16名、公民+地歴21名、中国語+地歴2名である。地歴39名のうち、地歴のみの受講者は16名であるが、公民の免許と併せて取得希望の者が21名と多い。公民は28名で、内訳は公民単独6名、地歴+公民21名、中国語+公民1名である。地歴同様に、公民28名のうち、公民のみの受講者は6名であるが、地歴の免許と併せて取得を希望する者は21名と多い。

英語は主に国際コミュニケーション学部の学生24名が取得を希望している。また、英語取得希望者はすべて英語のみで、他の免許の取得は希望していない。

主として現代中国学部の学生12名が、中国語の免許取得を希望している。地歴+中国語2名、公民+中国語1名、公民+商業+中国語1名、商業+中国語1名と、地歴、国語、公民、商業などと併せて取得しようとする学生が5名である。それ以外の7名は、中国語

の免許のみを取得しようとしている。

商業は16名で、商業のみの免許を取得しようとしているのは9名、その他は、地歴・公民+商業2名、公民+商業1名、公民+中国語+商業1名、中国語+商業1名、情報+商業2名と、地歴、公民、中国語、情報と併せて取得しようとしている。

情報は2名で、すべて商業と併せて取得を希望している学生である。

豊橋校舎では地歴103名の取得希望者がいる。内訳は公民+地歴45名、英語+地歴1名であり、特に公民の免許と併せて取得を希望する者が多いが、地歴単独も非常に多かった。

同様に公民は54名だが、公民単独は5名で、公民+地歴45名、国語+公民4名と、地歴の免許と併せて取得を希望する者が多い

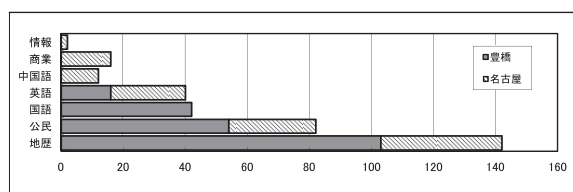
国語は42名であるが、ほとんど国語単独で35名、その他は公民+国語4名、地歴・公民+国語3名と、公民、地歴と併せて取得しようとしている。

英語は16名取得を希望している。取得希望者は、地歴と併せて取得しようとしている者も1名いるが、ほかすべて英語のみの免許を取得しようとしている。英語16名（英語単独15名、地歴+英語1名）、中国語0名、商業0名、情報0名である。

中国語、商業、情報の免許を取得しようとしている学生はいない。(図09) (図10)

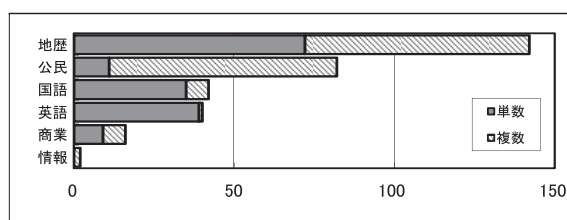
(図09) 教科別免許取得希望者

(複数免許の重複有り 名古屋校舎・豊橋校舎)



(図10) 教科別免許取得希望者

(単数・複数別 名古屋校舎+豊橋校舎)



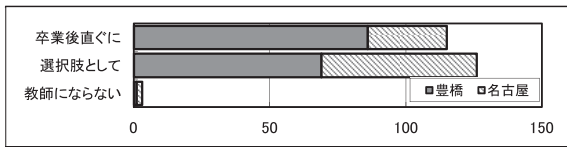
### 三、教職課程受講についての意識

#### 1. 教職課程を何故受講するのか

名古屋校舎は、「特に教師になるつもりはない」2名、「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」57名、「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」29名、「その他」1名だった。「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」と回答した学生は教職志向が強い。これに対し志向が比較的弱いとみられる「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」は2倍の回答があった。

豊橋校舎では、「受講するつもりはない」0名、「特に教師になるつもりはない」2名、「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」69名、「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」86名、「その他」5名だった。こちらは、「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」学生に対し、「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」が多い。「特に教師になるつもりはない」が2名いるが、他の資格取得のため履修するという学生である。(図11)

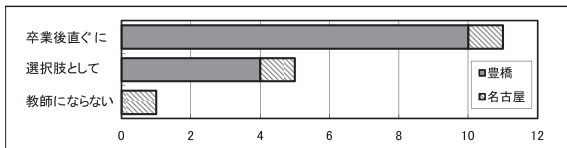
(図11) 教職への志向 (名古屋校舎・豊橋校舎)



課程がないこともあり人数は少ないが、小学校の教員免許取得希望者の教職への志向が高い。名古屋校舎では、希望者は3名、そのうち1人は「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」。豊橋校舎では14名の中、「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」は4名、「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」は10名である。(図12)

(図12) 教職課程受講理由

(小学校 名古屋校舎・豊橋校舎)



## 2. 教職志向の強い学生

「卒業時の就職の一つの選択肢として教員を考えている」「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」については、名古屋校舎と豊橋校舎において回答数に大きな開きがあった。

免許の種類別に確認してみると、地歴については、「卒業後、できれば直ぐ、できるだけ早いうちに教員になる」が、名古屋校舎39名の中11名、豊橋校舎103名の中56名と両校舎とも数的に多いが、名古屋校舎28.2%・豊橋校舎54.3%と割合は豊橋校舎の方がほぼ2倍となっている。

国語は、文学部のある豊橋校舎の学生だけ

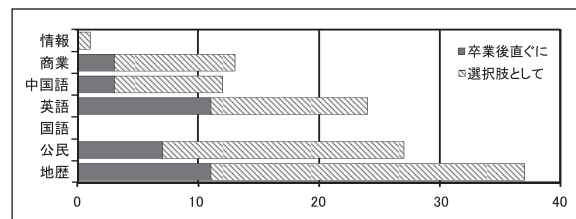
だが、数の上では42名の中24名で、割合では57.1%となっている。

英語は、名古屋校舎は24名中11名で約45.8%、豊橋校舎は16名中6名で37.5%程度である。名古屋校舎の方が教職志向が強い学生も多く割合も高い。

その他、名古屋校舎のみで人数が少ない中国語、商業、情報の取得希望者は、教職志向は弱い。総じて、地歴と国語の教職志向の高さは、豊橋校舎の学生の教職志向に強い関係がある。(図13) (図14) (図15) (図16)

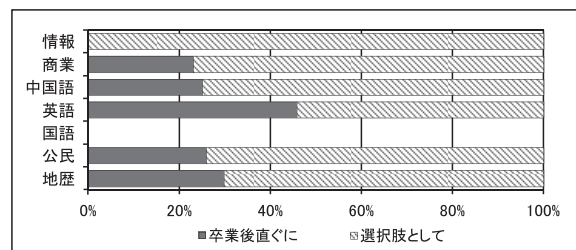
(図13) 教科別の教職志向

(含副免 名古屋校舎 学生数)



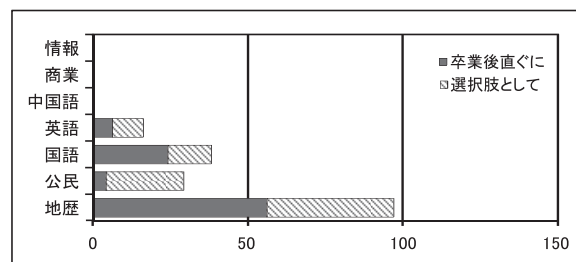
(図14) 教科別の教職志向

(含副免 名古屋校舎 教科別割合)



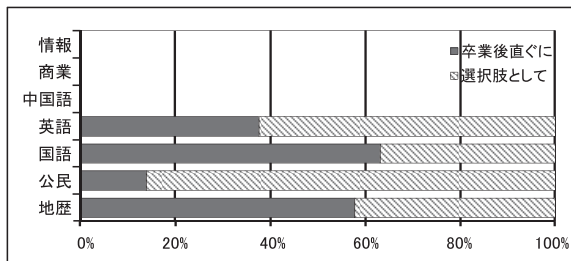
(図15) 教科別の教職志向

(含副免 豊橋校舎 学生数)



(図16) 教科別の教職志向

(含副免 豊橋校舎 教科別割合)

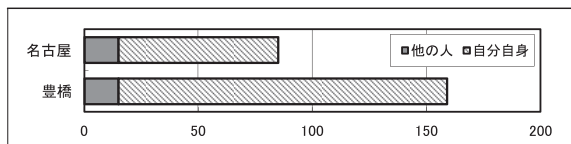


### 3. 教職を目指そうと決めたのは誰か

(2の質問、3・4・5に答えた学生のみ)

前年度の自由記述回答に、他の人の影響を受けたと推測されるものが多くあった。そこで、今回は質問項目を新たに設定してみた。しかし、名古屋校舎では回答数は85のうち、親、友人、先輩などの影響を受けたと答えたのは15名だった。これに比し「自身の評価による」と答えたのは70名だった。同様に、豊橋校舎でも、回答数は159名だったが、親、友人、先輩などの影響を受けたのは15名だった。これに対し「自身の評価による」と答えたのは144名だった。質問の趣旨については口頭で説明をしているが、他の人の影響を受けたが最終的に自身が決断したという場合は、「自身の評価による」を選んでいるようである。しかし、質問の捉え方は学生によって差があったようである。(03) (図17)

(図17) 受講の決断



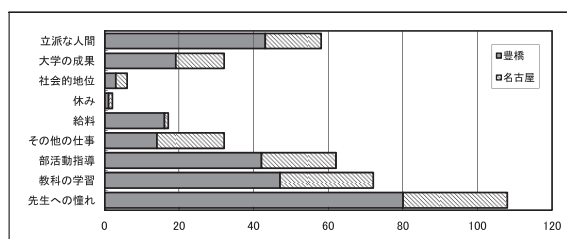
### 4. 教員になろうとする動機

(2の質問、3・4・5に答えた学生のみ)

教員になろうとする動機は何か。名古屋校舎では、「先生と言われる仕事に憧れていたから」28名、「教科の学習に関するものが好きだから」25名、「部活動の指導をしたいから」20名、「その他」の教員の仕事(学校行事・ホームルーム活動など)18名を含め、積極的に教員の仕事をしたいというものが多い。豊橋校舎でも圧倒的に多かったのは、「先生と言われる仕事に憧れていたから」80名である。「教科の学習に関するものが好きだから」43名、「部活動の指導をしたいから」42名、「立派な人間を育てたい」43名などである。

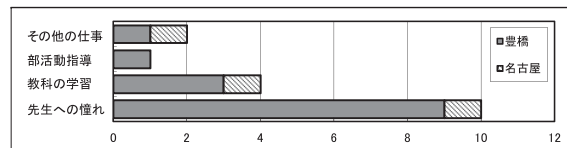
これに対し、「給料が良いから」を選んだのは7名(名古屋校舎1名、豊橋校舎6名)だった。また、「休みが多いから」は2名(名古屋校舎1名、豊橋校舎1名)だった。更に「社会的地位が高いから」は6名(名古屋校舎・豊橋校舎ともに3名)だった。(図18)

(図18) 教職志望理由(名古屋校舎・豊橋校舎)



なお、課程がないこともあり人数が少ない小学校免許取得希望者が、「先生と言われる仕事に憧れていたから」の選択者は、17名の中で14名と多かった。(図19)

(図19) 教職志望理由(小学校 名古屋校舎・豊橋校舎)



## 四、目指す教師像

### 1. 目指す教師像その1（選択肢）

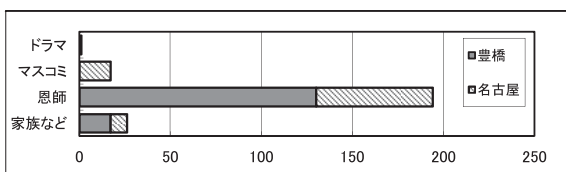
名古屋校舎では、「先生もしくは先生の経験者だった家族や親戚の人」9名、「かつて指導を受けた先生（恩師）」64名、「マスコミに登場した先生」1名、「ドラマや小説に出てきた先生」0名だった。

豊橋校舎では、「先生もしくは先生の経験者だった家族や親戚の人」17名、「かつて指導を受けた先生（恩師）」130名、「マスコミに登場した先生」0名、「ドラマや小説に出てきた先生」1名だった。

名古屋校舎・豊橋校舎ともに、「かつて指導を受けた先生（恩師）」を目指すという者が多い。その内訳は、名古屋校舎では、高校36名、中学校28名、小学校8名となっている。豊橋校舎では、高校53名、中学校26名、小学校9名となっている。名古屋校舎・豊橋校舎ともに、高等学校の先生が多い。

先の質問に、他の人の影響について質問をしたが、意見は参考にするものの最終的には自身の考え方に基づいて決めていた。しかし、目指す教師像として、教師志望に大きな影響を受けている。（図20）

（図20） 目指す教師像（名古屋校舎・豊橋校舎）



### 2. 目指す教師像その2

（自由記述 2の質問、3・4・5に答えた学生のみ）

自身の学校生活の経験から、人間として魅力ある教師でありたいという気持ちが強いよ

うである。「生徒の気持ちを第一に考える」「生徒の良いところを見つけられる」「生徒のことを親身になって考えられる」など、教えられる立場の生徒から信頼される教師が理想であるととらえている。具体的には、「尾木ママのようにフレンドリー」で、「いつもニコニコし一緒になって」遊んでくれ、「垣根を越えて友達のようにつき合っていける」、「授業・部活以外、友達でいることのできる」教師になりたいということである。しかし、友達のようなだけでなく、「確固たる人生哲学」をもち、「如何なる場合にも、正しいことをいえ」、困った生徒には「背中を押してあげられる」ような教師を目指していると答えている。

更に、生徒との接し方については、「生徒と同じ目線で対応できる」「生徒の立場に立って考えることができる」「出会えて良かったと思われる」教師を目指したいとある。また、「卒業してから良い先生だったと理解される」、生徒だけでなく「生徒の親から慕われる」教師を目指したいとも答えている。

指導の能力では、「わかりやすい授業ができる」「知識が豊富で質問に的確に答えられる」「勉強だけでなく他の大事なことを教えられる」「生徒の社会性を高められる」「いじめを防ぐことができる」教師を目指すと答えている。

教え方では、「授業の仕方が魅力的な」「面白い授業展開のできる」「丁寧な教え方ができる」教師を目指したいとある。また、教科に関するものだけでなく、「部活動にも力を入れられる」「部活で全国大会に連れて行け

る」教師を目指すというのもある。そのためには、「自分で考えさせ行動させる」「普段は優しく、時には厳しく指導」「良い悪いの理由を説明し指導」できる教師を目指すとする。

## おわりに

調査を実施した「教育制度論」は、教職課程を受講をし始めた学生が比較的早期に履修することが多い。学生がどのような動機と期待をもって、教職課程を受講しようとしたか、教員になろうとしているのか、また当該講義をどのような姿勢で履修するつもりか、この調査によって少なくとも履修予定者のおおよその確認はできた。教職課程を受講する当初の動機は様々で、多くの学生は慎重に曖昧さを残し履修し始めている。教職を当初から目指している者から、とりあえず免許を取っておこうとする者までいる。従って、時とともに、教職についてある程度理解すると、次第により強い意志をもって教職を目指す学生から、欠席がちになったり辞めていく者が出てくる。

平成24年度、愛知大学の教職課程受講者数は、1165名だった。うち、名古屋校舎は645名、豊橋校舎は520名である。ところが、このなかで、教育実習を実施したのは108名で、名古屋校舎55名、豊橋校舎53名である。これは4年生の受講者258名の中の半分にも満たない。名古屋校舎では161名中の55名、豊橋校舎では123名中の53名である。特に名古屋校舎は34.2%と少なくなっている。更に、公立学校の教員採用試験合格者数は、公立学校の正規教員9名（中学校6名、高校3名）、

私立学校5名といった状態である。

教職課程の履修者への指導は、まずはそれぞれの講義である。学生に対して必要なのは、講義を通して教職の魅力と必要な知識を教授し、求められる資質を磨き能力を高めることである。ただし、教職への取り組みが慎重であり曖昧さを残したままの学生には、適格な判断が早期に出来るようにすることが必要である。

## 注

- 01) 調査は、個人の指導資料として用いるため個人名を記入するようにした。但し、集団のデータとして参考になるものは、今後の指導と研究に活用する旨を確認している。
- 02) 文部科学省学校教員統計調査 2010  
(平成22年10月1日現在、代替教員・実習助手を除く)  
(1) 本務教員数(表1)によると、女性教員の占める割合は、幼稚園を除く各学校種で上昇しており、幼稚園92.6%、小学校61.9%、中学校41.1%、高等学校28.6%、中等教育学校30.9%、特別支援学校58.7%、専修学校51.2%、各種学校40.6%となっている。
- 03) 詳細は、拙稿「教職課程を履修する学生の受講動機とその後の選択－教職課程受講登録から採用試験の可否決定まで－」愛知大学 教職課程年報 第3号 2013

## 参考文献

- 01) 「教師志望動機と高校・大学生生活 ～教員採用試験合格者の場合～」藤原正光  
『教育学部紀要』文教大学教育学部第38集2004年 p.75～p.81
- 02) 「大学生の職業選択と教職志望動機」大西麗衣子  
尚美学園大学総合政策論集 第12号 2011.6  
尚美学園大学総合政策学部総合政策学会 p.15～p.21
- 03) 「教員志望学生の教職および教員イメージに関する



- 心理学的研究」甲村 和三 愛知工業大学研究報告  
愛知工業大学 第46号 2011.3 p.97～p.102
- 04) 「教職志望学生の志望動機形成と事前制御の受容に  
関する研究」柳 治男. 笠原 正洋. 松尾 智則 他  
中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要  
中村学園大学 第43号 2011.3 p.121～p.131
- 05) 「教職志望学生の学部4年間における学習の継続意  
志の変容：回想法による検討」  
三島 知剛. 野中 陽一郎. 明賀 裕紀  
日本教育工学会論文誌 日本教育工学会編  
日本教育工学会 35: 2011.12 p.117～p.120
- 06) 「私立大学教職課程履修者の意識と生活 進路希望  
との関係に着目して－」吉澤 茉帆・高静  
中国四国教育学会教育学研究紀要 第57巻 2011  
p.476～p.485
- 07) 「ある非教職志望の教育実習生の語りにみる教育実  
習の意味に関する研究」荒井聖司朗. 辻河 昌登  
学校教育学研究 学校教育学研究編集委員会編  
兵庫教育大学 学校教育研究センター 第24巻 2012  
p.57～p.65
- 08) 「教員志望学生へのアンケート調査による教員養成  
カリキュラムの検討 2009年の教員採用試験合格者の  
特徴から」香川大学教育実践総合研究 24: 2012  
p.161～p.169
- 09) 「教員養成における介護等体験の意味  
－2006～2008年度介護等体験アンケートの分析から－」  
伊藤直樹 明治大学『教職課程年報』(No.30, 31)

## 資料 平成25年度調査

### 一、調査対象、調査期日

- ・平成25年春学期 教職制度論 90名 (名古屋校舎)  
平成25年4月10日
- ・平成25年春学期 教職制度論165名 (豊橋校舎)  
平成25年4月8日

### 二、調査項目及び集計結果

#### 1. 受講登録者のうち第一回講義出席者

- ・学年  
名古屋校舎 90名  
(一年64名、二年18名、三年7名、科目等1名)

- 豊橋校舎 165名  
(一年115名、二年33名、三年17名)
- ・男女 名古屋校舎  
男41名  
(一年26名、二年10名、三年4名、科目等1名)  
女49名 (一年38名、二年 8名、三年3名)
- ・男女 豊橋校舎  
男90名  
(一年63名、二年15名、三年12名、)  
女75名  
(一年52名、二年18名、三年 5名)

#### 2. 取得希望免許

- ・学校種別  
名古屋校舎  
高校 76名 (男36名、女40名)  
中学校 48名 (男18名、女30名)  
小学校 3名 (男 1名、女 2名)
- 豊橋校舎  
高校 134名 (男72名、女62名)  
中学校 81名 (男45名、女36名)  
小学校 14名 (男 7名、女 7名)
- ・教科別  
名古屋校舎  
地歴 39名 地歴単独16名、  
公民+地歴21名、中国語+地歴2名  
公民 28名 公民単独 6名、  
地歴+公民21名、中国語+公民1名  
国語 0名  
英語 24名 英語単独24名  
中国語12名 中国語単独7名、  
地歴+中国語2名、公民+中国語1名、  
公民+商業+中国語1名、商業+中国語1名  
商業 16名 商業単独9名、  
地歴・公民+商業2名、公民+商業1名  
公民+中国語+商業1名、中国語+商業1名、  
情報+商業2名  
情報 2名  
商業+情報2名
- 豊橋校舎  
地歴103名 地歴単独56名、

公民+地歴45名、英語+地歴1名	豊橋校舎103名の中56名
公民 54名 公民単独 5名、	国語
公民+地歴45名、国語+公民4名	豊橋校舎42名の中24名
国語 42名 国語単独35名、	英語
公民+国語4名、地歴・公民+国語3名	名古屋校舎は24名中11名
英語 16名 英語単独15名、地歴+英語1名	豊橋校舎は16名中6名
中国語 0名	
商業 0名	
情報 0名	
<b>3. 教職課程を何故受講するのか</b>	
名古屋校舎	
・受講するつもりはない	0名
・特に教師になるつもりはない	2名
・卒業時の就職の一つの選択肢として <sub>=a</sub>	57名
・卒業後、できれば直ぐ教員になる <sub>=b</sub>	29名
・その他 <sub>=c</sub>	1名
豊橋校舎	
・受講するつもりはない	0名
・特に教師になるつもりはない	2名
・卒業時の就職の一つの選択肢として <sub>=a</sub>	69名
・卒業後、できれば直ぐ教員になる <sub>=b</sub>	86名
・その他 <sub>=c</sub>	5名
<b>4. 教職志向が比較的強い学生 (小学校)</b>	
名古屋校舎	
・受講するつもりはない	1名
・特に教師になるつもりはない	0名
・卒業時の就職の一つの選択肢として	1名
・卒業後、できれば直ぐ教員になる	1名
・その他	0名
豊橋校舎	
・受講するつもりはない	0名
・特に教師になるつもりはない	0名
・卒業時の就職の一つの選択肢として	4名
・卒業後、できれば直ぐ教員になる	10名
・その他	0名
<b>5. 教職志向が比較的強い学生 (教科別)</b>	
地歴	
名古屋校舎39名の中11名	
	豊橋校舎103名の中56名
	国語
	豊橋校舎42名の中24名
	英語
	名古屋校舎は24名中11名
	豊橋校舎は16名中6名
<b>6. 教職を目指そうと決めたのは誰か</b>	
(2の質問、3・4・5に答えた学生のみ=本資料3の <sup>abc</sup> )	
名古屋校舎 (回答数85名)	
・他の人の評価による (親、友人、先輩)	15名
・自身の評価による	70名
豊橋校舎 (回答数159名)	
・他の人の評価による (親、友人、先輩)	15名
・自身の評価による	144名
<b>7. 動機は何か</b>	
(2の質問、3・4・5に答えた学生のみ)	
・質問1	
名古屋校舎	
・先生と言われる仕事に憧れていたから	28名
・教科の学習に関するものが好きだから	25名
・部活動の指導をしたいから	20名
・その他	18名
豊橋校舎	
・先生と言われる仕事に憧れていたから	80名
・教科の学習に関するものが好きだから	43名
・部活動の指導をしたいから	42名
・その他	14名
・質問2	
名古屋校舎	
・給料が良いから	1名
・休みが多いから	1名
・社会的地位が高いから	3名
豊橋校舎	
・給料が良いから	6名
・休みが多いから	1名
・社会的地位が高いから	3名
・質問3	
名古屋校舎	
・大学で勉強したことを社会に活かしたい	13名

・立派な人間を育てたい	15名	11. 目指す教師像その2 (自由記述 2の質問3・4・5に答えた学生のみ)
豊橋校舎		
・大学で勉強したことを社会に活かしたい	19名	
・立派な人間を育てたい	43名	・教師像1
		・生徒の変化に気づくことができる教師
		・生徒の気持ちを第一に考える教師
		・生徒の良いところを見つけられる教師
		・親身になって生徒のことを考えられる教師
		・小さなサインにも気づける教師
		・尾木ママのようなフレンドリーな教師
		・いつもニコニコ一緒に子どもと遊ぶ教師
		・背中を押してあげる言葉をかけられる教師
		・確固たる人生哲学をもった教師
		・如何なる場合にも、正しいことをいえる教師
		・メリハリをしっかりと付けることができる教師
		・人望のある教師
		・教師像2
		・生徒と信頼しあえる教師
		・生徒と同じ目線で対応できる教師
		・生徒の立場に立って考えることのできる教師
		・卒業してから、良い先生だったと理解される教師
		・出会えて良かったと思われる教師
		・生徒や生徒の親から慕われる教師
		・垣根を越えて友達のようにつき合っていける教師
		・生徒とともに喜怒哀楽を共有できる教師
		・授業・部活以外、友達でいられる教師
		・教師像3
		・わかりやすい授業のできる教師
		・知識が豊富で質問に的確に答えられる教師
		・勉強だけでなく、ルールマナーを教えられる教師
		・勉強以外でも大事なことを教えられる教師
		・生徒の社会性を高められる教師
		・いじめ問題を防ぐことができる教師
		・教師像4
		・丁寧な教え方ができる教師
		・自分で考えさせ行動させる教師
		・部活で全国大会に連れて行ける教師
		・部活動にも力を入れられる教師
		・普段は優しく、時には厳しく指導できる教師
		・良い悪いを、理由を説明し指導できる教師
		・授業の仕方が魅力的な教師
		・面白い授業展開のできる教師
8. 動機は何か (小学校)		
(2の質問、345に答えた学生のみ)		
・質問1		
名古屋校舎		
・先生と言われる仕事に憧れていたから	1名	
・教科の学習に関するものが好きだから	1名	
・部活動の指導をしたいから	0名	
・その他	1名	
豊橋校舎		
・先生と言われる仕事に憧れていたから	9名	
・教科の学習に関するものが好きだから	3名	
・部活動の指導をしたいから	1名	
・その他	1名	
9. 目指す教師像その1		
(2の質問、3・4・5に答えた学生のみ)		
名古屋校舎		
・先生の経験者だった家族や親戚の人	9名	
・かつて指導を受けた先生 (恩師)	64名	
・マスコミに登場した先生	1名	
・ドラマや小説に出てきた先生	0名	
豊橋校舎 (回答数157名)		
・先生の経験者だった家族や親戚の人	17名	
・かつて指導を受けた先生 (恩師)	139名	
・マスコミに登場した先生	0名	
・ドラマや小説に出てきた先生	1名	
10. 目指す教師像その1 (恩師内訳…重複・未回答あり)		
名古屋校舎		
・高校	36名	
・中学校	28名	
・小学校	8名	
豊橋校舎		
・高校	53名	
・中学校	26名	
・小学校	9名	

